



なぜ、いいとみの教師は タブレット端末を使うのか

-いいとみWDM（わかる・できる・もっとやりたい）授業を目指して-



だから使う！

いいとみのWDM授業ここがポイント



自分だけの
オーダーメイド教材



考える力が身につく
授業スタイル



タブレット端末で
分からないことを解決



主体的



対話的



深い学び

アセスメントを通じて、タブレット端末やPCで作成した教材で一人ひとりの目標に合わせた使いやすい教材が用意できます。

アクティブラーニングの実現を目指し、タブレット端末を用いて答えを比較・ディスカッションする等、学習形態が広がります。

体育で、遅延再生アプリなどを用いて自分の課題に気付いたり、国語や社会でブラウザや辞書アプリで調べ学習を行ったりしています。

実践1 小学部国語
よく聞こう、伝えよう

実践2 中学部国語
話の内容を読み取ろう ～ないた赤おに～

実践3 高等部国語
百人一首を楽しもう



タブレット端末 が使われる理由

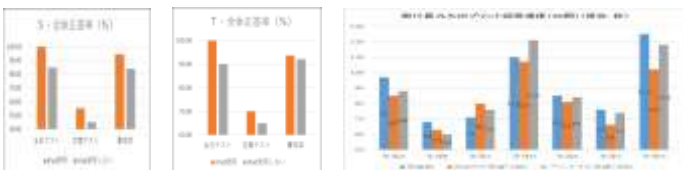
- 1 教員支援体制の充実（安心のサポート）
- 2 台数の充実（いつでも使える）
- 3 教員のスキルに応じた研修の実施（教員もWDM）



子どもが変わった！ ICTによる成果



こんな悩みありませんか？ いいとみのWDM体験



児童生徒の実態や障害の特性に応じることで、タブレット端末は、学習に対して即効性があり、直感的に「分かる」「できる」を感じることができます。



写真を撮るくらいしかできなかったですが、こんなに簡単に授業で使えるとは思いませんでした。
中学部 G教諭, N教諭

タブレット端末を生徒が使用できるようにすることで、さらに力を引き出すことができ、びっくりです。
高等部 Y教諭



プリント学習では、なかなか定着が回れず、悩んでいましたが、タブレット端末で見える化することで、理解と定着を図ることができました。
小学部 S教諭

